

令和5年度宇部市公共交通協議会 第1回会議 会議録

日 時：令和5年（2023年）6月20日（火） 10：00～11：30

場 所：ポスティビルド3階 第1・第2研修室

出席者：17名（欠席者3名）

榊原会長（国立大学法人山口大学大学院）

三戸副会長（宇部市自治会連合会）

鈴木委員（国立大学法人山口大学大学院）

大谷委員（宇部市交通局）

綿部委員（船木鉄道株式会社）

芳野委員（宇部山電タクシー株式会社）

城戸崎委員（宇部第一交通株式会社）

木村委員（西日本旅客鉄道株式会社）

館委員（中国運輸局山口運輸支局）

上田委員（中国地方整備局山口河川国道事務所宇部国道維持出張所）

渡壁委員（山口県宇部土木建築事務所）

北村委員（山口県宇部警察署）

吉森代理委員（山口県観光スポーツ文化庁交通政策課 渡邊委員代理）

吉原委員（一般社団法人宇部観光コンベンション協会）

木原委員（宇部市地球温暖化対策ネットワーク）

山根委員（宇部市交通局バスモニター）

磯中委員（宇部市都市政策部）

事務局：6名

都市政策部 渡辺次長

都市計画課 金子課長、羽根主幹、青木副課長、和田係長、坂倉係員

次 第：1 会長あいさつ

2 議事

(1) 宇部市地域公共交通計画の目標に対する令和4年度実績

(2) 西宇部地区コミュニティタクシーの変更

(3) 原地区コミュニティタクシーに使用する車両に係る
移動円滑化基準の適用除外

(4) 地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統補助、
車両減価償却費等補助）に係る計画認定申請

(5) 長門 美祢 山口宇部空港直通便実証運行

(6) 「スマート空港タクシー」に係る協議事項

(7) 令和4年度収支決算及び監査報告

(8) 令和5年度事業計画及び予算（案）

3 その他

1 会長あいさつ

2 議事

(1) 宇部市地域公共交通計画の目標に対する令和4年度実績

事務局から、資料について説明を行った。意見等については、以下のとおり。

【会長】

宇部市の場合、計画策定していた令和2年度がコロナの初年度と言うことでかなり低い数字になっている。

今回の計画は、コロナ渦からの回復というのがテーマになっていると思う。

例えば、代表的な指標で、路線バスの利用者は、令和元年のコロナの前で1日6,000人位だったのが、令和2年が4,600人位ですから、前の年の8割以下になっており、年々減少傾向にはあったが、一気に前の年の8割以下に減少したことはこれまでなかった。

それに対して、昨年度においては、5,000人を超えてきているので8割5分くらいにまで回復はしているが、100%には到底およんでいない状況である。

おそらく、令和5年度くらいまでは、ある程度自然に回復していく部分があると思うが、そろそろ自然回復も終わる。なるべくコロナ前の状態に戻そうと思うと、今年度以降、努力が必要である。

今年度、バス無料デーを実施されているが、こういった取り組みが利用者の定着につながって行けばいいと思う。

(2) 西宇部地区コミュニティタクシーの変更 [承認]

事務局から、資料について説明を行った。意見等については、以下のとおり。

【委員】

往路便のダイヤが1時間ずつ遅くなっているが、こういった理由で変更するのか。

【事務局】

変更前の時間にしたときは、他の公共交通機関と乗り継いで利用される方がいたが、最近の利用傾向等を確認したうえで、目的地のフジ西宇部店の開店時間に合わせる形で変更することとなった。

【委員】

現在の利用者に影響はないか。

【事務局】

何人かの方は、1便を利用されている方がいらっしゃるが、これから周知等を行い、ご理解をいただく。

【会長】

どちらかと言うと、地域内で完結する買い物等の利用にあわせて変更するということでいいか。

【事務局】

そのとおり。

(3) 原地区コミュニティタクシーに使用する車両に係る移動円滑化基準の適用除外

〔承認〕

事務局から、資料について説明を行った。意見等については、以下のとおり。

【会長】

車両を大型化するのはどういった理由からか。

【事務局】

火曜日・木曜日の運行で比較的追加便が出ていることや、追加便が来るまで待たないといけないので、大きい車にしてくれないかとの要望があり導入が決まった。

原地区コミュニティタクシーは、他の曜日も運行しているが、道幅の関係で導入が難しいため、今回は火曜日・木曜日にのみ導入する。

【委員】

今現在、車いすでの利用者はいるか。

【事務局】

車いすでの利用があるかどうかの資料はないが、可能な範囲で対応し、対応困難な場合等は福祉タクシー等の利用をお願いする形になるかと思う。

【委員】

今まで、乗車された実績はあるか。

【委員】

乗車された実績はない。

(4) 地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統補助、車両減価償却費等補助）に係る計画認定申請 〔承認〕

事務局から、資料について説明を行った。意見等については、以下のとおり。

【会長】

年間利用者数と収支率の関係について、年間利用者数が多くなると基本的には収支率がよくなるが、年間利用者数が同じくらいでも、収支率に違いがあるのは、運行日や運行回数の違いによるものか。

【事務局】

運行日や運行回数のほか、運賃の違いによっても収支率は変わってくる。

【会長】

基本的には、多く利用していただくのがいいが、地域によって、比較的沢山走らせたり、距離が長くなったり、その分経費がかかってくるということでもいいか。

【事務局】

そのとおり。

【会長】

市内でも収支率については、少し差がある。特に、北部地域については厳しい状況にあるが、地域性もあるので今までと同じ基準で評価するのも無理があると思っている。ただ、公共交通として機能するためのラインもあると思うので、運行の在り方についてタイミングをとらえて考えていく必要もある。

- (5) 長門 美祢 山口宇部空港直通便実証運行 [承認]
事務局から、資料について説明を行った。(質問、意見なし)
- (6) 「スマート空港タクシー」に係る協議事項 [承認]
事務局から、資料について説明を行った。意見等については、以下のとおり。
- 【委員】
利用実績はどうなっているか。
- 【事務局】
2021年度は、運行件数が466件、乗車人数が568人、乗合率が17.55%、2022年度は、運行件数が1,120件、乗車人数が1,394人、乗合率が22.27%となっている。
- 【会長】
一人で利用される場合が多いのか。
- 【事務局】
一人で利用される場合が多くなっている。
- 【会長】
採算性を考えて変更するというのでいいか。
- 【事務局】
補助金がなくなったということで、完全に自主事業となる。山口宇部空港から湯田温泉までのタクシー料金等を考慮して一人当たりの料金が設定されている。
- (7) 令和4年度収支決算及び監査報告 [承認]
事務局及び監査委員から、資料について説明を行った。意見等については、以下のとおり。
- 【会長】
路線バス運転士採用サイトのアクセス状況はどうなっているか。
- 【事務局】
公開から6月13日までで、アクセスしたユーザー数が268人、閲覧されたページ数が802ページとなっている。
- 【会長】
ユーザー数は、ユニークユーザー数か。
- 【事務局】
ユーザー数は、同じ人が同じブラウザから何度閲覧しても1人とカウントされるので、ある程度の実人数に近い数字である。
- (8) 令和5年度事業計画及び予算(案) [承認]
事務局から、資料について説明を行った。意見等については、以下のとおり。
- 【委員】
路線バス運転士採用サイトや、うべバスのサインを作って終わりではなく、露出を増やしていく、広報して行くことにもう少し予算を付けていただいた方がいいのでは

ないか。

せっかく良いサイトを作っていたので、今から負担金を増やすことは難しいと思うが、広報にも取り組んでもらいたい。

【事務局】

路線バス運転士採用サイトを作製にあわせて、サイトに誘導するQRコードを付けた運転士募集ポスターのデータを作製した。ポスターは、それぞれの事業者において必要に応じ印刷し、周知等に活用している。

言われるとおり、周知は大事だと考えているので、そのほかの方法についても検討する。

【委員】

サイトを見たが、文字が多かったりして、気軽に見るのには重たい内容だと思ったので、いろいろと工夫が必要と感じた。あと、求職中の人等に運転士を募集していることを知ってもらうため、ハローワークや自動車学校とコラボレーションした取組も必要と思う。

大学生の企画について、市内には、駐輪場が設置してあるバス停がいくつかあり、自転車とバスを乗り継いで移動する方法もある。車とかバイクを持っておらず、自転車によく乗っている高校生も加えらるか、工学部の学生さんで外国人の方もバスとか自転車に乗っているの、こういった方も仲間に入れていただいて、実の利用者の方が入ることで、乗って終わるのではなくて、自分たちが困っていることを含めて企画に盛り込まれるといいと思う。

市の税金を使ってやることなので、実績と成果が出るよう、アシストしてあげて欲しい。

【会長】

例えば、市長YouTubeなど、いろいろな方法でサイトの周知を欲しい。学生が企画するイベントについて、大学生だけで実施するのはどうかという問題意識もったが、高校生は試験も多く、日程調整に苦労したと聞いている。運営者として、宇部工業高等専門学校の生徒が入っており、大学生としてそういったところは意識していたと思う。大学生は、高校や高専と直接つながりにくいので、市に応援していただくとありがたい。

【委員】

運転士が足りないということで、交通局独自で運転士体験会を今年度2回、西日本自動車学校を借りて行うこととしている。

5月に実施した体験会では、8名の方が参加され、そのうち2名の方が応募されたが、免許をもっていない方なので、これから免許を取ることになる。

やはり、体験をするのが一番効果的であり、今回は職安ともコラボして、求職活動の実績としていただいた。

また、昨年度、山口市で実施された体験会では、一部の方はすでに仕事をされている状態の方もおり、体験会が一番近道かと感じている。

【委員】

弊社では、体験会のようなことは実施していないが、必要であり、大切なことでは

あるので、そういったお声がけがあれば対応したい。

【委員】

タクシー会社も運転士が不足している状況である。現状としては、ハローワークで募集をしており、体験会は今後の課題ではあると思うが、実現には至っていない。

【委員】

体験会について、山口市の方で4回か5回ぐらい実施していると思う。実際はバスの方に興味を持たれる方が多く、タクシーの方は、バスの体験会に来られた人が、ついでに寄られるというのが非常に多い。

バスの体験ができる人数が限られており、全体的な参加者も少ないため、説明を聞きに来る人も少ない。

内容を改善しながら継続はしていく必要はあると思っている。

【副会長】

応募される人は、女性、男性どちらが多いか。今、女性でもバスの運転士に興味を持っている人もいる。

【委員】

交通局の場合は、1割程度居るか居ないか。昨年度、山口市で実施された体験会では、2、3人いたと思う。

【副会長】

今すでに、女性運転士の方もいると思うが、女性にスポットを当てて募集していただければと思う。

【会長】

人手不足は大きな問題のため、今後は、勤務形態や車両の運転のしやすさなど、運営の構造なども考えていく必要がある。

3 その他

【事務局】

地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統補助、車両減価償却費等補助）に係る計画認定申請について、軽微な文言の修正等は会長に一任させていただくことについて説明を行った。〔承認〕

【事務局】

路線バス運賃無料デー（5月5日）の実施結果について説明を行った。

【委員】

ICカードの乗車データを分析するといろいろなことが分かる。可能ならば、無料デーにICカードで乗車した人のデータを分析すると思う。また、まちづくりの観点から、渋滞の減少など、公共交通を利用することで助かる部分についても分析できるといいと思う。

【事務局】

委員の改選について説明を行った。